



アドアーズ株式会社 2008年3月期 中間決算説明会



2007年11月30日(金)

アドアーズ は、夢と感動あふれる“遊空間”の提供を通じて、
人々にうるおいと笑顔運びます。

「あなたの笑顔のために」

Create Happiness! それが私達の願いです。

JASDAQ :4712

This program is brought to you by Corporate planning division

Agenda

1) 会社概要

2) 2008年3月期 中間実績

| 全社

| セグメント別

3) 2008年3月期 下期 方針・展望

4) 中期Vision・方針



「ひとつの好きなことを選び、
その道を信じて努力し続けていると
何とか人に勝てる」
という信念を実践に移してきただけである

「これからますます四次元ゲーム産業が面白い」

著: 故 真鍋 勝紀(元シグマ創設者) より抜粋

アドアーズ株式会社 2008年3月期中間決算

1) 会社概要



Photos :Adores & Game fantasia Mirano

Establishment 1971

会社概要／大株主の状況

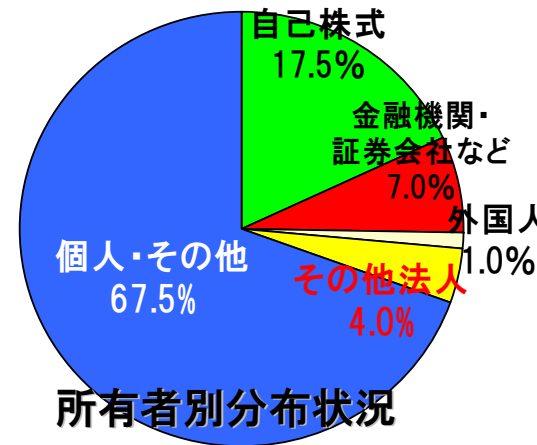
会社概要

商号	アドアーズ株式会社
設立	1967年12月
本社所在地	東京都中央区日本橋 馬喰町2-1-3
資本金	40億円
発行済株式数	54,778,796株 (9月28日に900万株の消却を実施)
上場取引所	ジャスダック証券取引所
従業員数	354名(社員) 603名(アルバイト等)
事業内容	アミューズメント施設の運営等

大株主の状況

(2007年9月30日現在)

株主名	所有株式数	持株比率
GF投資ファンド投資事業有限責任組合	20,500,000	37.42%
アドアーズ株式会社(自己株式)	9,601,759	17.52%
日本証券金融株式会社	2,801,000	5.11%
鈴木昭作	2,046,486	3.73%
星 久	1,078,924	1.96%
庄司 正英	739,000	1.34%
株式会社ヤマニ興業	624,460	1.13%
岡田 浩明	606,000	1.10%
SBIイー・トレード証券株式会社(自己融資口)	602,000	1.09%
アルゼ株式会社	412,000	0.75%



※平成19年8月3日付「主要株主の異動に関するお知らせ」等でご報告しておりますように、アルゼ株式会社から1,800万株の自己株式取得したことに伴い、同社は主要株主・その他関係会社に該当しないことになりました。

なお、自己株式900万株を消却したことに伴い、各主要株主の持株比率が相対的に上がっております。

沿革

年	月	事項
1967年	12月	輸入娯楽機を中心としたゲーム機設置業を目的として、株式会社シグマを設立
1971年	12月	当社1号店『ゲームファンタジアミラノ店』開設(現存)
1972年	7月	ゲーム機器の自社開発を開始
1983年	10月	ゲーミングマシン製造業者ライセンスを取得 (株式公開準備のため1991年5月に返上)
1985年	7月	当時の室内アミューズメント施設としては世界最大級の床面積を誇る 『ゲームファンタジアサンシャイン店』開設(現存)
1998年	11月	日本証券業協会に株式を店頭登録(現ジャスダック証券取引所)
2000年	10月	株式会社シグマ(存続会社)、株式会社テクニカルマネージメント、 株式会社環デザインの3社が合併し、社名をアドアーズ株式会社に変更 アミューズメント機器の開発、製造、販売部門を 当時、筆頭株主(同年2月に資本参加)であったアルゼ株式会社へ移管
2006年	3月	株式異動によりGF投資ファンド有限責任投資組合が筆頭株主となる (アルゼ株式会社は第2位株主)
	5月	北海道初出店となる『アドアーズ北42条店』を5月22日に開設 『アドアーズ狸小路店』を5月26日に開設
	6月	新経営体制として代表取締役社長・代表取締役専務の2名体制へ
2007年	8月	アルゼ株式会社の保有する1,800万株の株式を自己株式にて取得(約38億円) (同社の当社議決権比率が10%以下となり、主要株主から外れる)
	9月	東京都葛飾区に『アドアーズ新小岩店』を9月8日に開設 8月に取得した自己株式のうち、900万株を消却
	10月	埼玉県川越市に『アドアーズ川越店』を10月27日に開設

アドアーズ株式会社 2008年3月期中間決算

2)- I 2008年3月期中間実績(全社)



アドアーズ株式会社 2008年3月期中間決算

業界動向・所見

- ➡ AM業界の二極化、上位企業の寡占化
- ➡ AM機器の大型化・短命化に伴う機器購入費用の拡大
- ➡ AM施設の大型化・複合化
- ➡ 2007年7月より本格的にパチスロ新基準機時代の到来
→パチンコ・パチスロ運営企業のAM業界への参入

AM:アミューズメント

アミューズメント業界とアドアーズ比較資料 07年最新

1. アミューズメント業界の参入状況
2. 業界動向
3. アドアーズの参入状況 (オペレーション売上高(非連続経理))
4. アドアーズの参入状況 (マシン設置台数)
5. 経営の健全性 (経理)
6. その他経営状況
7. 参考資料

※アミューズメント業界とアドアーズ比較資料
もご参照ください。

This program is brought to you by Corporate Planning & IR
2007年03月 経営企画部

2008年3月中間期の成果と反省 - 総括① -

2008年3月期テーマ: 変化・成長・スピード

コーポレートアクション

～戦略的活動に向けた経営・執行体制の強化

経営体制の更なる強化、 機動的な資本政策・経営戦略の基盤を築く



右:代表取締役社長 中川健男

左:代表取締役専務 八多川 昭一

6月28日 代表取締役体制の強化

8月 3日 旧親会社アルゼ株式会社保有の当社株式のうち、
1,800万株を自己株式取得
(発行済株式総数の約28%に相当)

9月28日 保有自己株式900万株(取得株式の半分)を消却

2008年3月中間期の成果と反省 - 総括② -

2008年3月期 基本行動方針

基本方針へのアクション

- ①顧客視点に立った事業戦略、選択と集中
- ②人材の育成・活用
- ③新たな収益機会の拡大

サービス業の原点に立ち返り、
お客様第一のアミューズメント施設運営に向けて

中核事業であるアミューズメント施設運営事業の強化

- ・上期3ヵ店出店(年間計画5ヵ店以上)および既存店6ヵ店のリニューアル
- ・地域や季節特性に合わせた各種イベントなどによる競争力強化

事業の安定基盤の確保

- ・施設施工事業では強みを活かした営業と徹底した債権管理体制の構築
- ・全社一丸となった効率的な組織運営によるコスト削減
- ・日本版SOX法対応の早期取組による業務リスク低減・コントロールの実現

アルバイトスタッフにまでおよぶ徹底した本社教育・研修

M&Aをはじめ、AMとのシナジー効果を重視した収益機会の研究

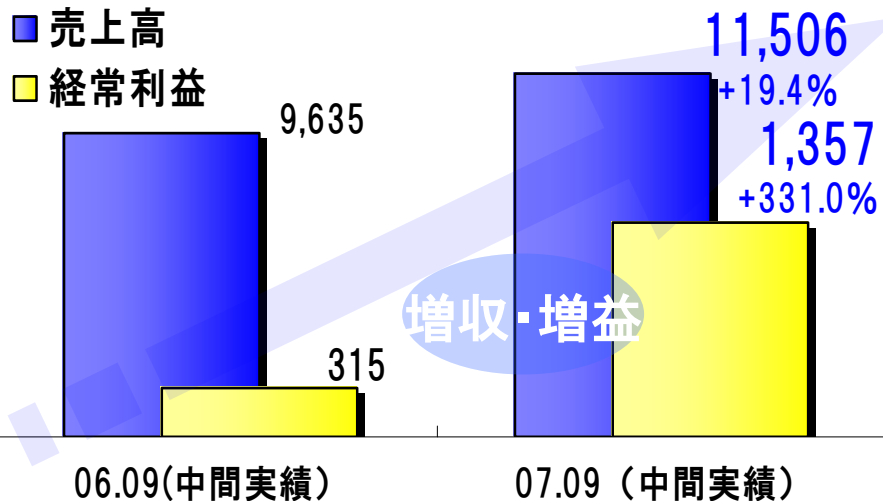
AM:アミューズメント施設運営事業

2008年3月期中間決算の概況／全社損益計算書(実績)

全社実績

(単位：百万円)

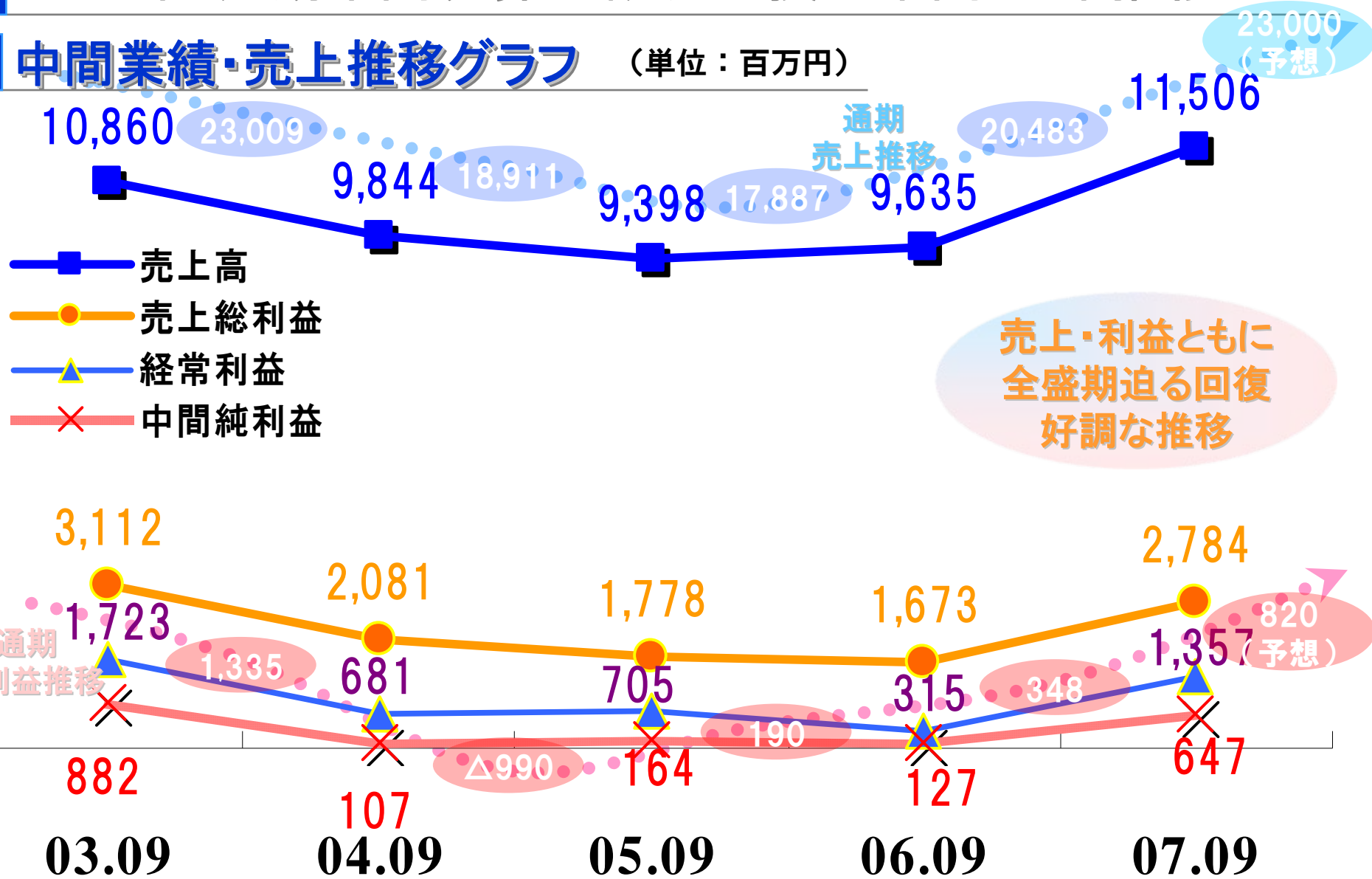
	2006年9月中間	2007年9月中間	前期差	前期比
項目	実績	実績	(百万円)	(%)
売上高	9,635	11,506	+1,871	+19.4%
売上総利益	1,673	2,784	+1,111	+66.4%
営業利益	313	1,350	+1,037	+330.4%
経常利益	315	1,357	+1,042	+331.0%
中間純利益	127	647	+520	+409.6%



- アミューズメント施設運営事業の既存店強化策が奏功し、前年度既存店売上対比100%を超える推移を維持
- 施設・施工事業を中心に、他事業も堅調に推移
- 一部新店開設費用等が下期に集中
- 全社一丸となったコスト削減により収益性を伴った成長実現

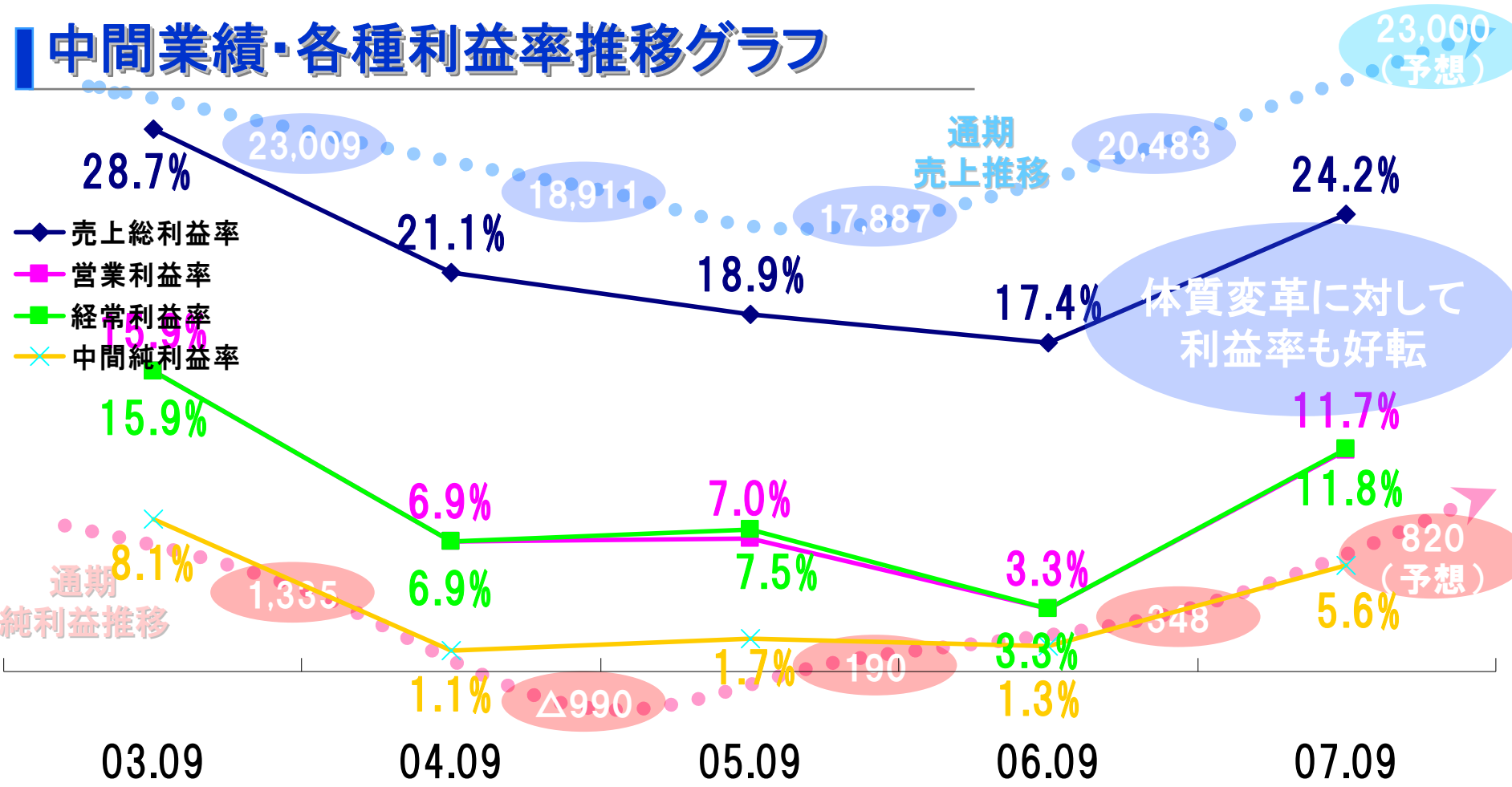
2008年3月期中間決算の概況／損益中間5ヵ年推移

中間業績・売上推移グラフ (単位：百万円)



2008年3月期中間決算の概況／利益率中間5カ年推移

中間業績・各種利益率推移グラフ



過去に作り上げた競争優位性が市場変化により、かげりはじめる

新たな競争優位を目指し 暗中模索の時期

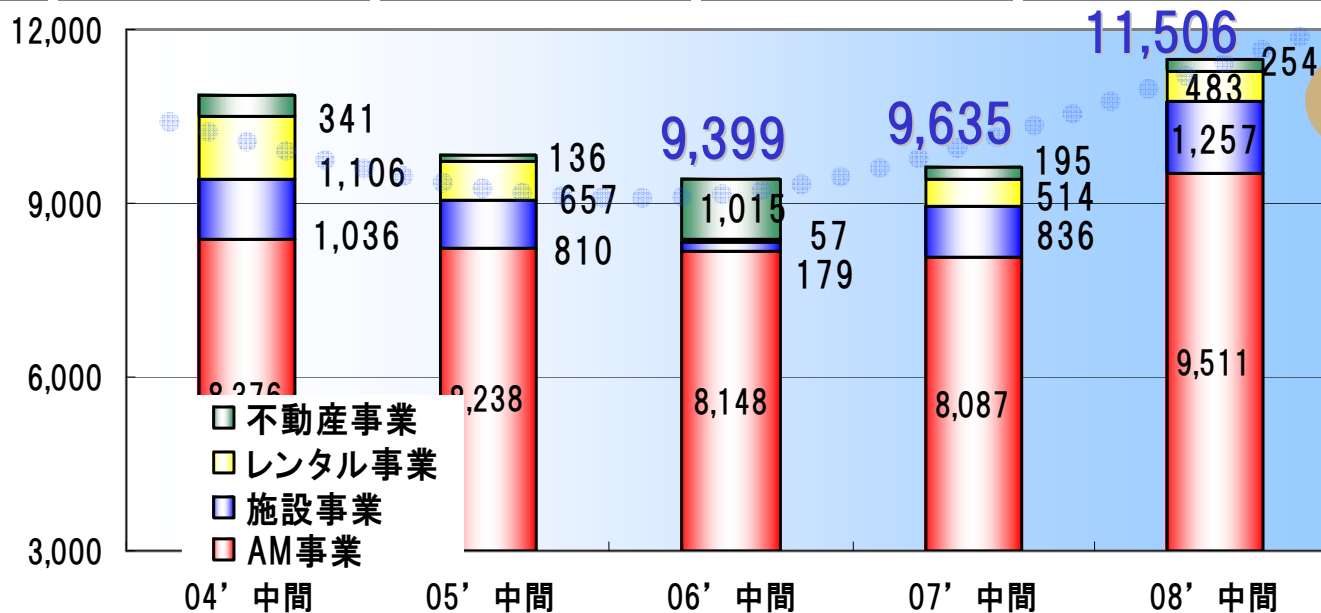
成長軌道へ現状打破 転換と成長を加速

2008年3月期中間決算の概況／セグメント別売上高

セグメント別 業績推移

(単位：百万円)

	2003年9月中間	2004年9月中間	2005年9月中間	2006年9月中間	2007年9月中間
項目	実績	実績	実績	実績	実績
AM運営	8,376	8,238	8,148	8,087	9,511
施設・施工	1,036	810	179	836	1,257
レンタル	1,106	657	57	514	483
不動産	341	136	1,015	195	254
計	10,859	9,841	9,399	9,635	11,506



主要部門で
増収達成

2008年3月期中間決算の概況／貸借対照表

貸借対照表

(単位：百万円)

◆流動資産 8,509 現金及び預金：5,974	◆流動負債 8,080 短期借入金：200 一年内返済長期・社債：3,454
◆固定資産 20,669 有形固定資産：12,211 無形固定資産：359 投資その他資産：8,098	◆固定負債 10,458 長期借入金：7,282 社債：2,840
	◆株主資本 10,633 資本金：4,000 資本・利益余剰金：8,682 自己株式：△2,049
	◆評価・加算差額等 7
◆資産合計 29,178	◆負債純資産合計 29,178

ネットデット

3,380百万円(07.03)

⇒7,802百万円(07.09)

主な増加要因は人気マシンの積極導入・新店開設に加え、8月の自己株式取得(3,798百万円)によるもの

株主資本比率

48.5%(07.03)

⇒36.5%(07.09)

主な減少要因は上記自己株式取得によるもの。

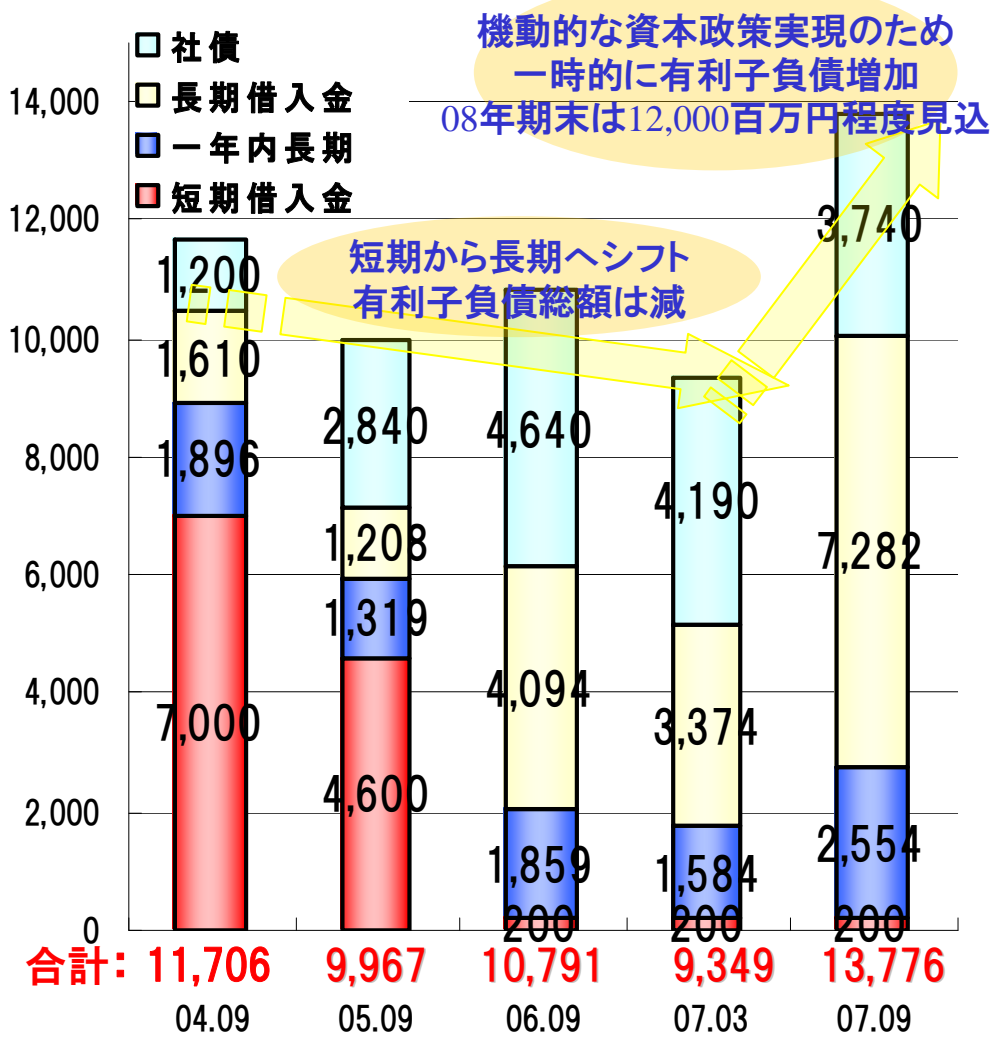
一株あたり純資産は消却により220.79円→235.34円に増加

※2008年3月期中間参考資料をご参照ください。

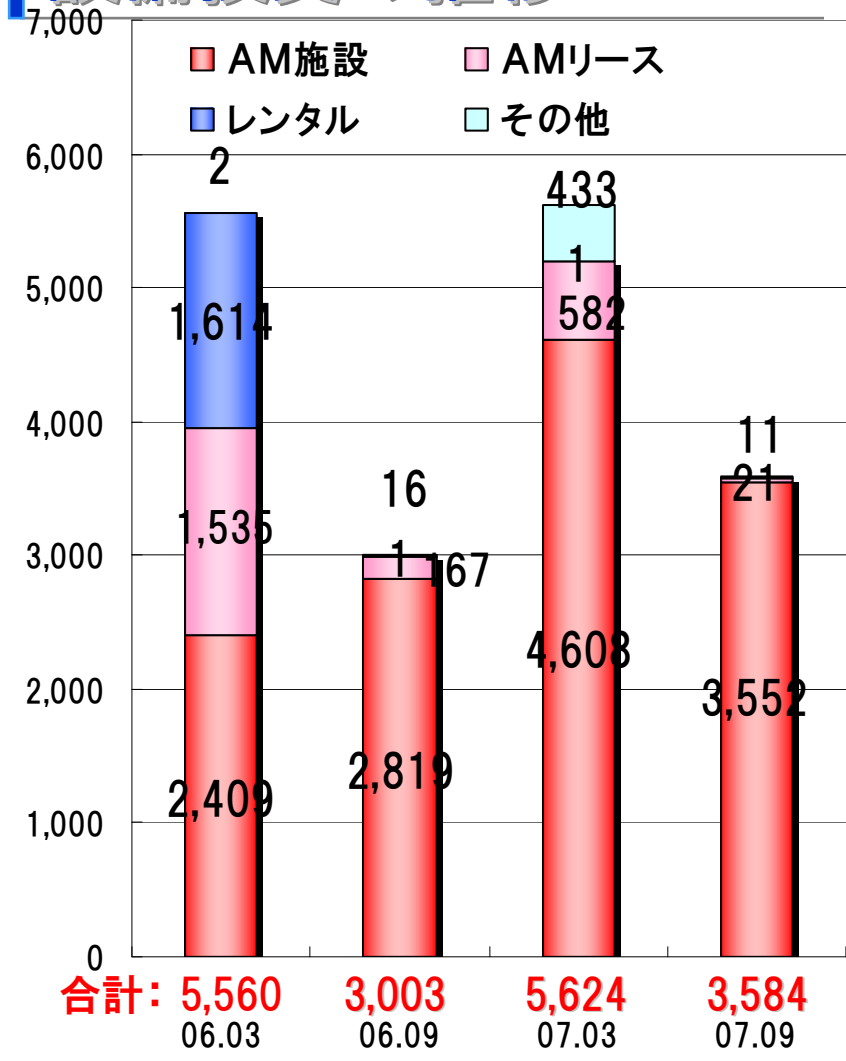
2008年3月期中間決算の概況／資金

(単位：百万円)

有利子負債の推移



設備投資の推移



2008年3月期中間決算の概況／自己株式の使途・目的

自己株式の取得事由

長期的かつ総合的な株主価値の向上を経営の重要課題として認識し、株主価値向上および経営戦略・経営環境に対応した機動的な資本政策の遂行のため

(自己株式取得関連開示より抜粋)

実現

(1) 株式取得による一株あたりの株式価値向上

→平成19年9月28日に9百万株の株式消却(1株価値1.16倍)

→期末予定配当を2.5円から3.0円に増配(20%増)

遂行・
研究中

(2) 企業価値向上のためのM&A戦略における株式交換等への充当

→M&A推進を中期経営戦略の3本の柱の一角とすえ、研究・検討中。

半分
実現

M&A専属部署も立ち上げ、機動性も確保。

(3) 更なる事業拡大に向けた経営の自由度の向上、安定株主確保による経営基盤の強化

→独立系オペレーターとなり、アミューズメント運営部門の好調を実現

アドアーズ株式会社 2008年3月期中間決算

2)-Ⅱ 2008年3月期 中間実績(セグメント別)



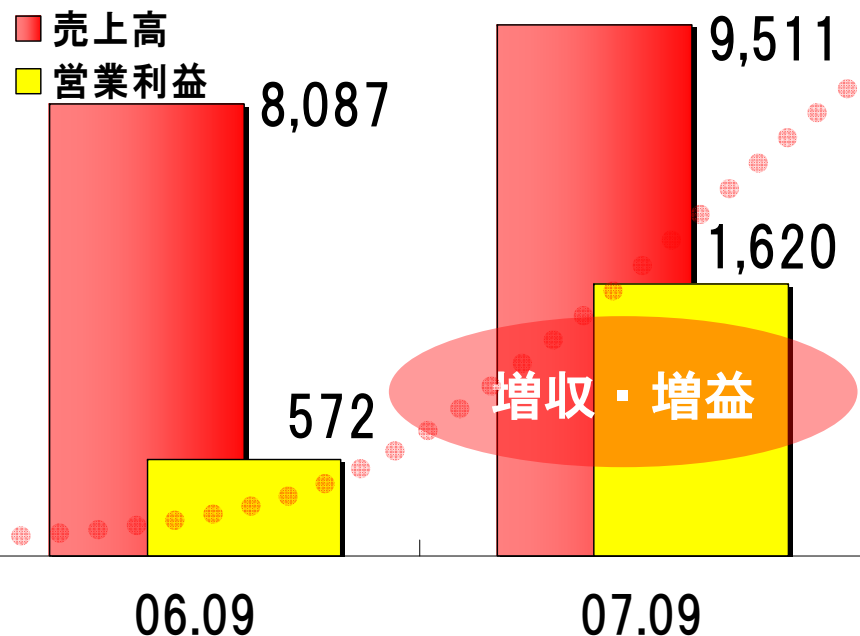
Photos :Adores Kita-42jyo
Establishment 2007 spring

2008年3月中間期の概況／AM施設運営事業

売上・利益の推移

(単位：百万円)

項目	2006年9月中間 実績	2007年9月中間 実績	前期差 実績	前期比 (%)
売上高	8,087	9,511	+1,424	+17.6%
売上原価	6,585	6,939	+354	+5.4%
売上総利益	1,503	2,572	+1,069	+71.1%
営業利益	572	1,620	+1,048	+183.2%



期初中間計画

売上: 9,300百万円

営業利益: 1,061百万円

計画達成率

売上: 102.3%

営業利益: 152.7%

2008年3月中間期の概況／AM施設運営事業

総括・上期実施事項

**既存店の前年比100%超の推移を維持
新店3カ店と概ね計画通りの新店計画達成**

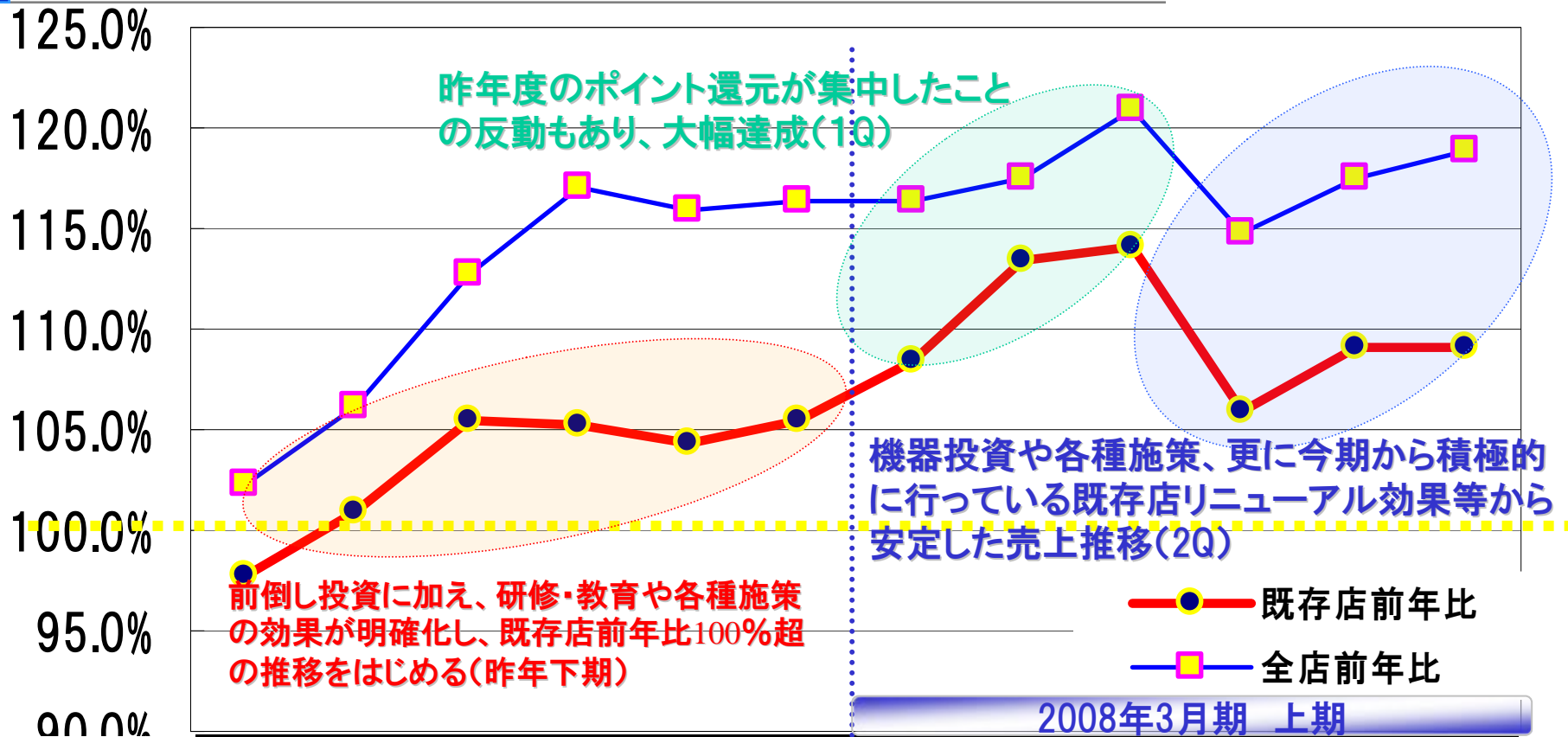
**オペレーターNo.1を目指し、サービス業の原点に戻り、
接客からの見直し**

- ◇新店計画の達成・積極的な人気マシンの導入に加え、
既存店舗の6カ店をリニューアル
- ◇アルバイト社員にまでわたる徹底した接客研修
- ◇季節特性や来店動機を促す各種イベントの実施
- ◇効率的な運営体制の実施で収益確保

2008年3月中間期の概況／AM施設運営事業

既存店・全店売上高推移

(前年同月対比)



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
既存店前年比	97.8%	101.0%	105.4%	105.2%	104.4%	105.4%	108.5%	113.3%	114.0%	106.0%	109.1%	109.1%
全店前年比	102.3%	106.1%	112.8%	117.1%	115.8%	116.3%	116.4%	117.4%	121.0%	114.8%	117.4%	118.9%

2008年3月中間期の概況／AM施設運営事業

ジャンル別売上高の推移

(単位：百万円)

	06.09 (中間実績)	構成比	07.09 (中間実績)	構成比	前年同期差	増減率
メダルゲーム	3,129	38.7%	3,402	35.8%	+273	8.7%
パチンコ・パチスロ機	1,380	17.1%	1,664	17.5%	+284	20.6%
メダルゲーム計	4,509	55.8%	5,066	53.3%	+557	12.4%
プライズゲーム	1,461	18.1%	1,627	17.1%	+166	11.4%
マスアーケード	1,033	12.8%	1,712	18.0%	+679	65.7%
ビデオゲーム	237	2.9%	171	1.8%	△ 66	-27.8%
AM自販機(プリクラ等)	303	3.7%	258	2.7%	△ 45	-14.9%
その他	544	6.7%	677	7.1%	+133	24.4%
合計	8,087	100.0%	9,511	100.0%	+1,424	17.6%

新店および既存店復調効果からほぼ全ジャンルで前年対比増傾向。ビックタイトルの新作・バージョンアップが続くマスアーケードゲームが非常に好調。ファミリーターゲット獲得に向け、強化したプライズも続伸。

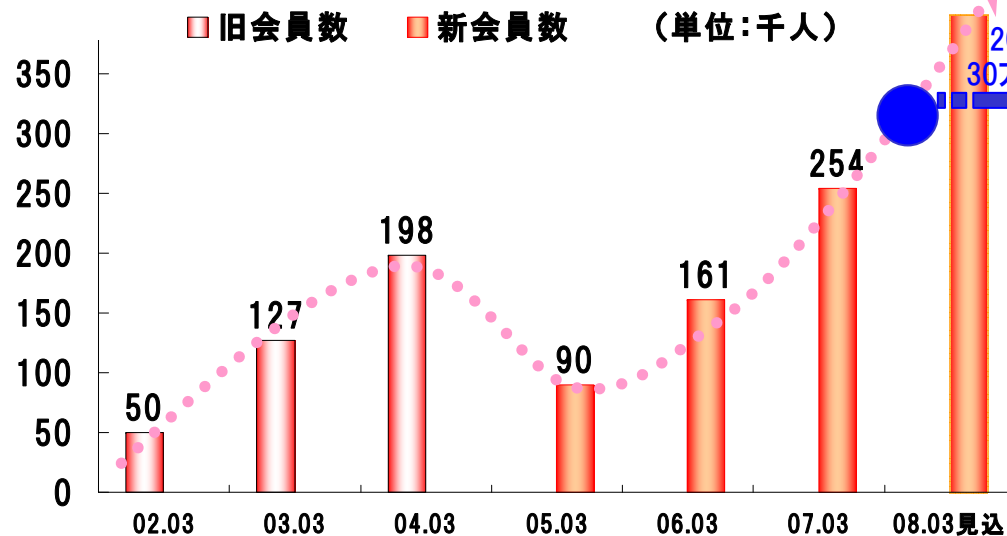
2008年3月中間期の概況／AM施設運営事業概況

事業概況トピックス／出店・閉店、会員動向等

	2005年3月期	2006年3月期	2007年3月期	2007年9月中旬
直営店舗数(店)	67	64	64	67
新規出店数(店)	5	1	5	3
閉店数(店)	3	4	6	0
在客延べ人数(万人)	1,557	1,590	1,662	932
従業員数(アルバイト)	253(835)	236(883)	325(758)	352(602)
営業面積(坪)	10,486	10,464	11,950	13,261
マシン設置台数(台)	9,273	8,283	8,797	9,399

○会員数推移

※増床は100坪以上の大型増床をカウント



当社メダル売上の大きな下支えであり、人気のバロメーターとなる会員数が、昨年制度刷新以来200%となる30万人を突破

(07.09)

上期開設の新規・リニューアル店舗／AM施設運営事業

北海道初進出・超駅前出店 & 6カ店の既存店リニューアル

新規開設店舗



2007年5月22日開設

アドアーズ北42条店
年商見込：5億9千万
客室面積：1,808㎡



2007年5月26日開設

アドアーズ狸小路店
年商見込：7億4千万
客室面積：1,841㎡



2007年9月8日開設

アドアーズ新小岩店
年商見込：5億8千万
客室面積：1,102㎡

リニューアル既存店舗

アドアーズサンロード店



アドアーズ鶴見店A館



アドアーズ和光店



アドアーズ川崎店



アドアーズ草加店

アドアーズ池袋西口店

2008年3月期中間決算の概況／各種施設開発・設計施工事業

売上・利益の推移

(単位：百万円)

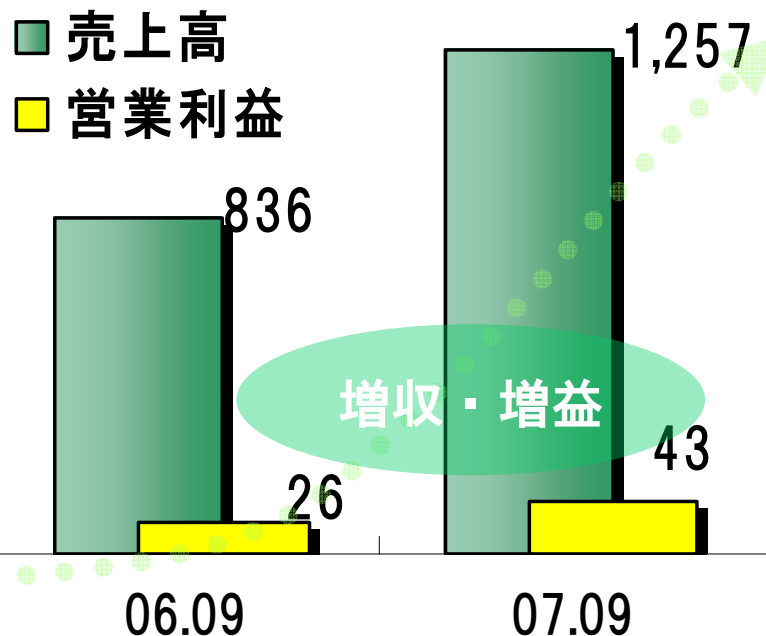
項目	2006年9月中間	2007年9月中間	前期差	前期比
	実績	実績	実績	(%)
売上高	836	1,257	+421	+50.4%
売上原価	761	1,141	+380	+49.9%
売上総利益	75	116	+41	+54.7%
営業利益	26	43	+17	+65.4%

期初中間計画

売上: 1,115百万円
営業利益: 0.6百万円

計画達成率

売上: 112.7%
営業利益: -%



主要顧客であるパチンコホールの内装設備への投資意欲の減少、中小ホールの倒産など、市場環境は厳しく推移しましたが、設計・デザイン力を活かした営業活動により、売上前年比50.4%増、利益面でも増益を達成

2008年3月期中間決算の概況／レンタル事業

売上・利益の推移

(単位：百万円)

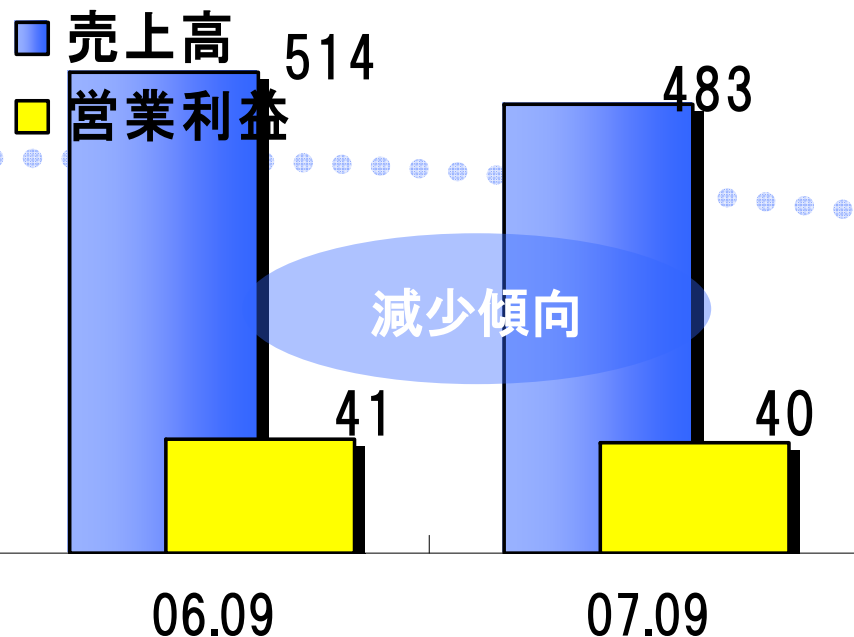
項目	2006年9月中間	2007年9月中間	前期差	前期比
	実績	実績	実績	(%)
売上高	514	483	△ 31	-6.0%
売上原価	445	420	△ 25	-5.6%
売上総利益	70	63	△ 7	-10.0%
営業利益	41	40	△ 1	-2.4%

期初中間計画

売上：467百万円
営業利益：26百万円

計画達成率

売上：103.4%
営業利益：153.8%



前々事業年度に契約したパチスロ機、周辺機器のレンタル料等の回収が順調に進み売上に寄与。
債権管理体制の強化によって概ね安定した収益を確保。

2008年3月期中間決算の概況／不動産事業

売上・利益の推移・総括

(単位：百万円)

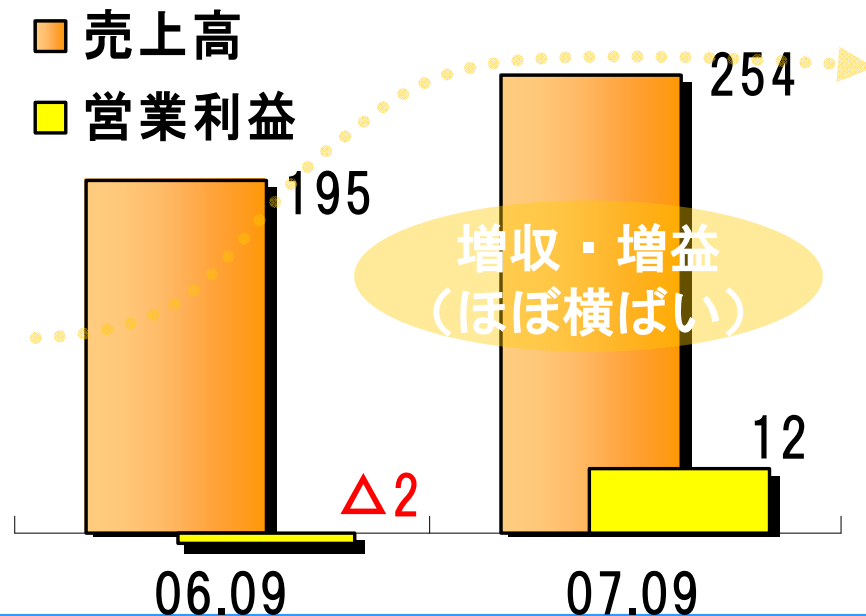
項目	2006年9月中間	2007年9月中間	前期差	前期比
	実績	実績	実績	(%)
売上高	195	254	+59	+30.3%
売上原価	170	219	+49	+28.8%
売上総利益	24	34	+10	+41.7%
営業利益	△ 2	12	+14	—

期初中間計画

売上：238百万円
営業利益：0百万円

計画達成率

売上：106.7%
営業利益：-%



安定した不動産収入と、一部店舗スペースの転貸などによる有効活用により計画どおりの推移。前年売上比30.3%増。

アドアーズ株式会社 2008年3月期中間決算

3) 2008年3月期下期 方針・展望

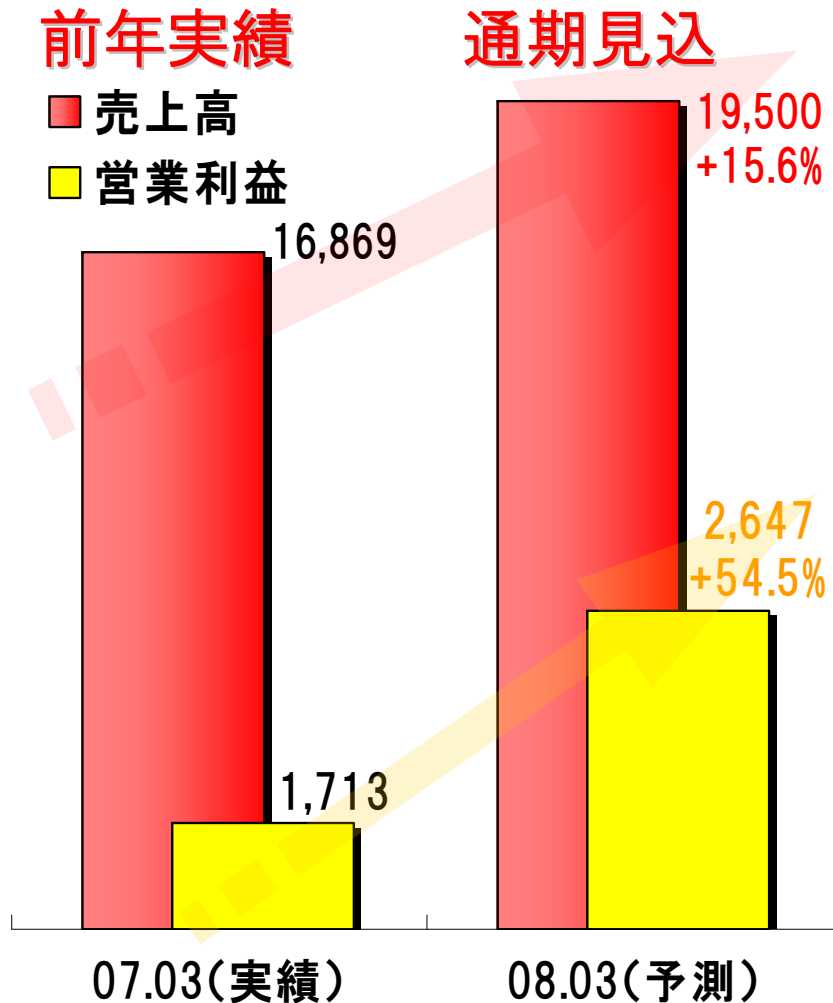


Photos :Adores Tanuki ko-ji
Establishment 2007 spring

通期の予測／AM施設運営事業

下期の施策および通期見込

(単位:百万円)



- 引き続き、サービス業の原点である接客の強化(10月より接客コンテスト・お客様アンケート実施)
- 店舗立地ごとの市場・競合分析に基づいた各種施策、イベント実施
- オペレーター専門ならではの、顧客ニーズにマッチした全メーカーの最新鋭機種種の適確な導入
- 新規出店計画5カ店も達成見込。リニューアルも通期10カ店を目標にアドアーズブランドの浸透化を図る

※通期見込は平成19年10月22日付「平成20年3月期中間期業績予想(非連結)及び通期業績予想(非連結)の修正に関するお知らせ」でご報告の上方修正計画となります。

通期の予測／AM施設運営事業

下期出店・リニューアル情報

新店 アドアーズ川越店 (2007年10月27日 開設)

住所：埼玉県川越市小仙波938-2 ドン・キホーテ川越店2F
最寄駅：JR・東武東上線 徒歩20分・国道16号沿い
マシン台数：メダルゲーム機165台 アーケード機23台
営業面積：305坪

ロードサイド型・複合施設



リニューアル

アドアーズ荻窪店 **今期7店舗目**
(2007年10月22日リニューアル)

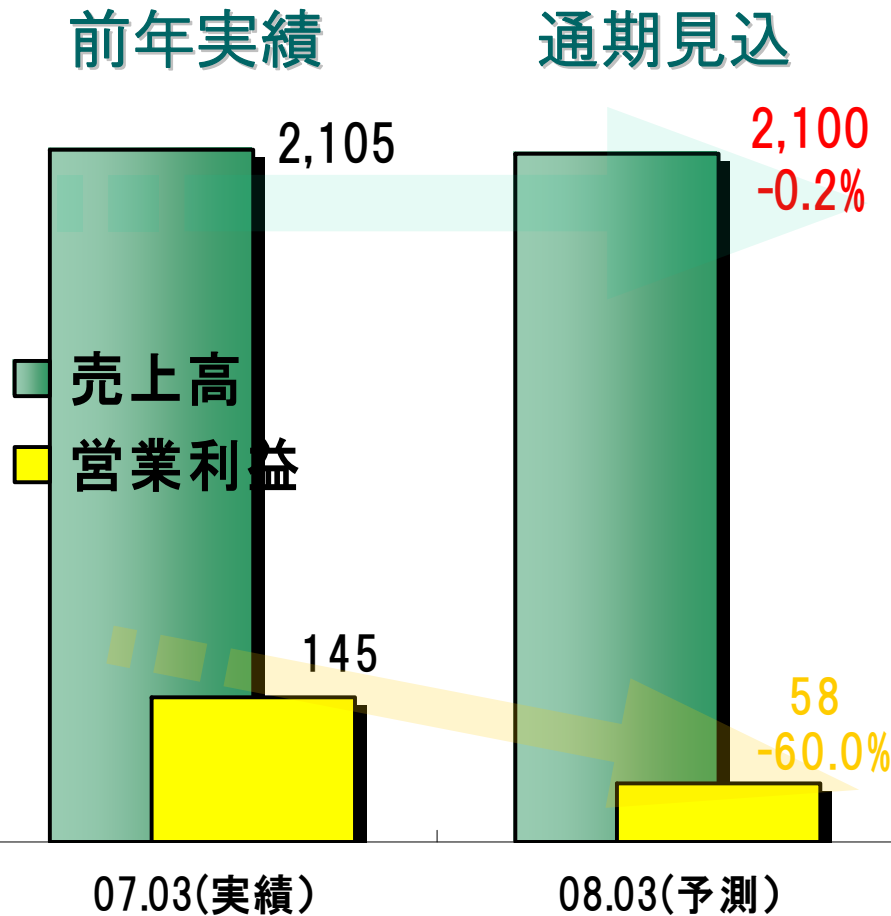
アドアーズ池袋東口店 **今期8店舗目**
(2007年11月23日リニューアル)

- ◆ 下期はこの他、既存店のアネックス店舗や有力繁華街への出店がほぼ確定しており、6～7カ店の出店を見込。
- ◆ 各種複合化を推進し、集客力のある付加価値の高い店舗を目指す
- ◆ リニューアルは既存店強化策の重要課題として、ゲームファンタジアブランドからアドアーズブランドへの統一を随時行う

通期の予測(各種施設開発・設計施工事業)

下期の施策および通期見込

(単位:百万円)



○アミューズメント施設工事を通じて得られたデザイン力を更に高めて新規顧客の開拓および既存顧客との深耕を積極的に図る

○主要顧客であったパチンコ業界の厳しい環境下、利益率の高い大型内外装の受注は減少する見込ですが、飲食や各種娯楽施設への営業展開を図ることで売上確保を目指す。

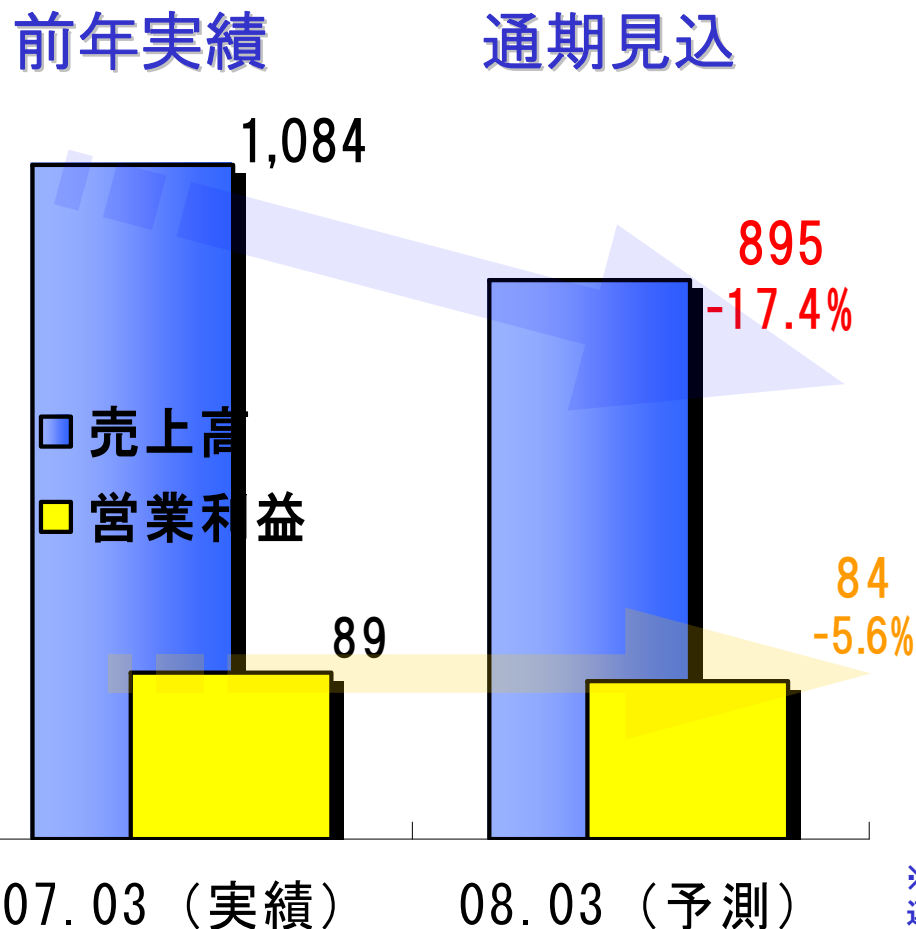
○品質管理・コスト管理強化とともに、与信管理体制の構築を推進

※通期見込は平成19年10月22日付「平成20年3月期中間期業績予想(非連結)及び通期業績予想(非連結)の修正に関するお知らせ」でご報告の上方修正計画となります。

通期の予測(レンタル)

下期の施策および通期見込

(単位:百万円)



- 概ね計画通りに推移
(減収は新規契約を締結しないため)
- 引続き、前々年度に契約したレンタル契約の債権管理を徹底し、安定した事業展開を維持
- 最終契約終了期日2010年頃

※通期見込は平成19年10月22日付『平成20年3月期中間期業績予想(非連結)及び通期業績予想(非連結)の修正に関するお知らせ』でご報告の上方修正計画となります。

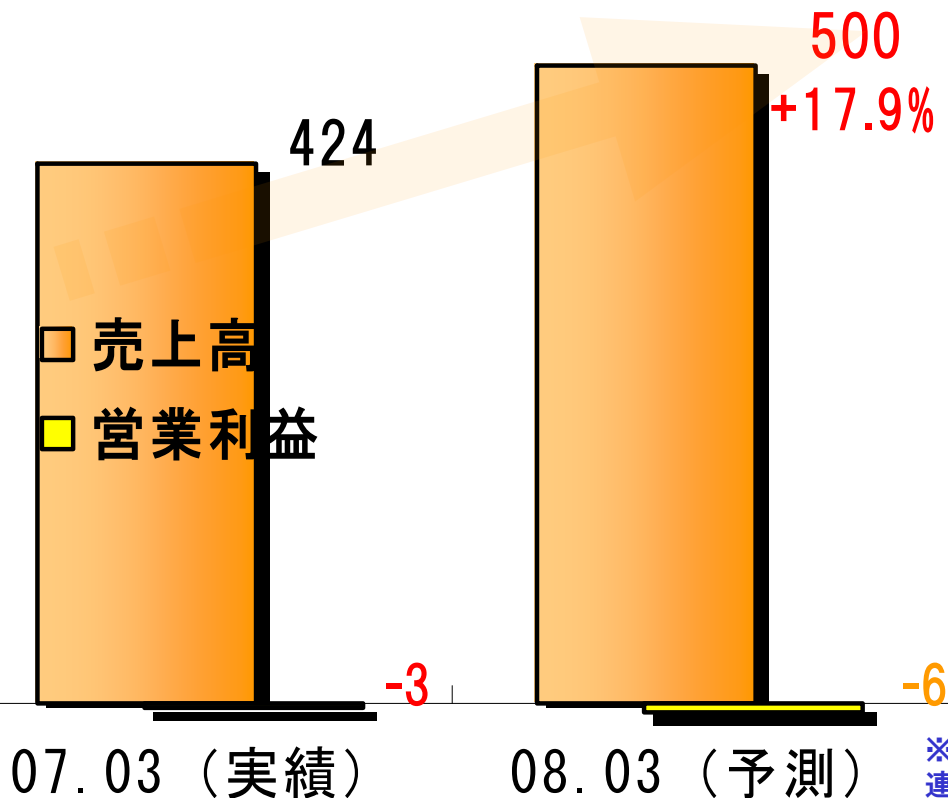
通期の予測／不動産事業

下期の施策および通期見込

(単位：百万円)

前年実績

通期見込



- 概ね計画通りの推移
- 遊休地やAM既存店舗の空きスペースを有効活用するため、積極的なテナントリーシングを行う
- 新店開発につながる優良物件の調査・検討

※通期見込は平成19年10月22日付『平成20年3月期中間期業績予想(非連結)及び通期業績予想(非連結)の修正に関するお知らせ』でご報告の上方修正計画となります。

下期及び今後の展望／全社合計計画・見込

2008年3月期・全社

(単位:百万円)

		2008年3月 中間期(07.09)		2008年3月 下期(予測)		2008年3月通期 (10/22修正計画)		
		金額	前期間比	金額	前期間比	金額	前年比	売上比
売上高	AM施設	9,511	+17.6%	9,989	+13.7%	19,500	+15.6%	84.8%
	施設開発	1,257	+50.4%	843	-33.6%	2,100	-0.2%	9.1%
	レンタル	483	-6.0%	412	-27.7%	895	-17.4%	3.9%
	不動産・他	254	+30.3%	251	+9.6%	505	+19.1%	2.2%
	合計	11,506	+19.4%	11,494	+6.0%	23,000	+12.3%	100.0%
売上原価		8,722	+9.5%	9,278	+8.4%	18,000	+8.9%	78.3%
売上総利益		2,784	+66.4%	2,216	-3.0%	5,000	+26.3%	21.7%
営業利益		1,350	+330.4%	630	-34.7%	1,980	+54.8%	8.6%
経常利益		1,357	+331.0%	523	-45.0%	1,880	+48.4%	8.2%
純利益		647	+409.6%	173	-21.4%	820	+135.6%	3.6%

41期下期は上記金額を見込んでおり、修正計画達成に向け、
全社一丸となって取り組む所存です。

リスク要因

アミューズメント施設運営事業

- ▶ 法的規制について、出店政策について
- ▶ 特定メーカーとの大型取引
- ▶ 個人情報の管理
- ▶ 人材育成および確保
- ▶ 消費税増税によるリスク

各種施設開発・設計・施工事業

- ▶ 主要顧客である7号業界の市場環境悪化のリスク
- ▶ 売上債権の貸倒リスク

パチスロ機・周辺機器レンタル事業

- ▶ 法的規制について

その他

- ▶ 固定資産の減損会計の適用

アドアーズ株式会社 2008年3月期中間決算

4) 中期Vision・方針



アドアーズ は、夢と感動あふれる“遊空間”の提供を通じて、
人々にうるおいと笑顔を選びます。

「あなたの笑顔のために」——
Create Happiness! それが私達の願いです。

Photos : Adores Sun-shine

Establishment 1985

中長期的な経営戦略・方向性

中長期基本経営方針

ヒト・モノ・カネを集中させた効率的な
経営体制の強化による企業価値の極大化

タームミッション

マーケットシェアの拡大と収益性の向上
アミューズメント施設運営オペレーターNo. 1

中長期的な経営戦略・方向性

アミューズメント施設運営事業の強化

- 顧客ニーズに応えるマシンラインナップ、魅力ある施設開発
- 年間5店舗以上の出店(拡大・成長戦略)
- 教育研修による差別化～上質なサービス提供の研修

各種施設開発・設計・施工事業の強化

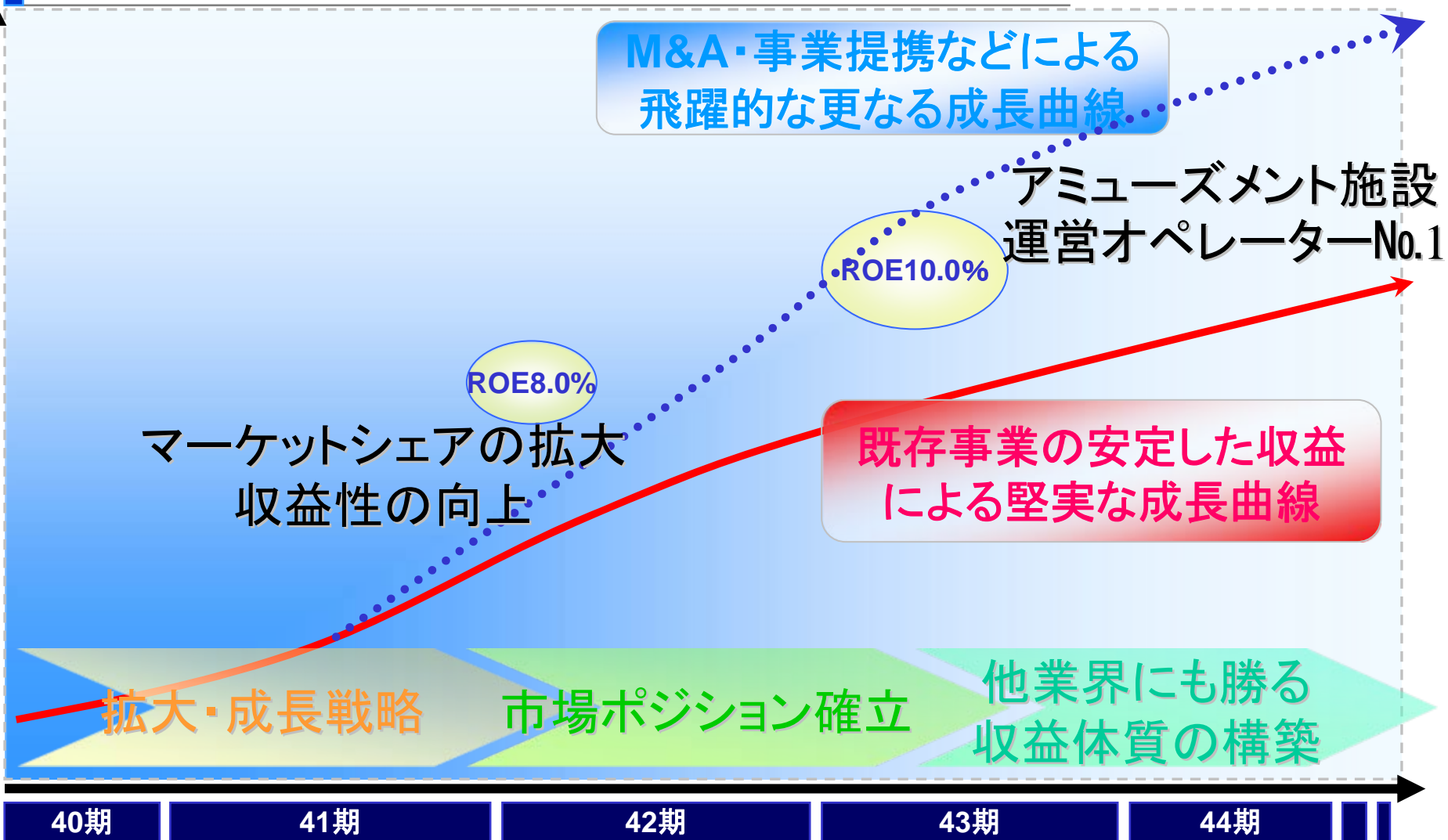
- 新規顧客の開拓や既存顧客との深耕を図り、事業拡大
- AMに特化した開発力を活かしたAM空間創造事業の確立

新たな収益機会の拡大

- AM施設運営事業とのシナジー効果の期待できる企業分野に関して、積極的なM&Aや事業提携の推進

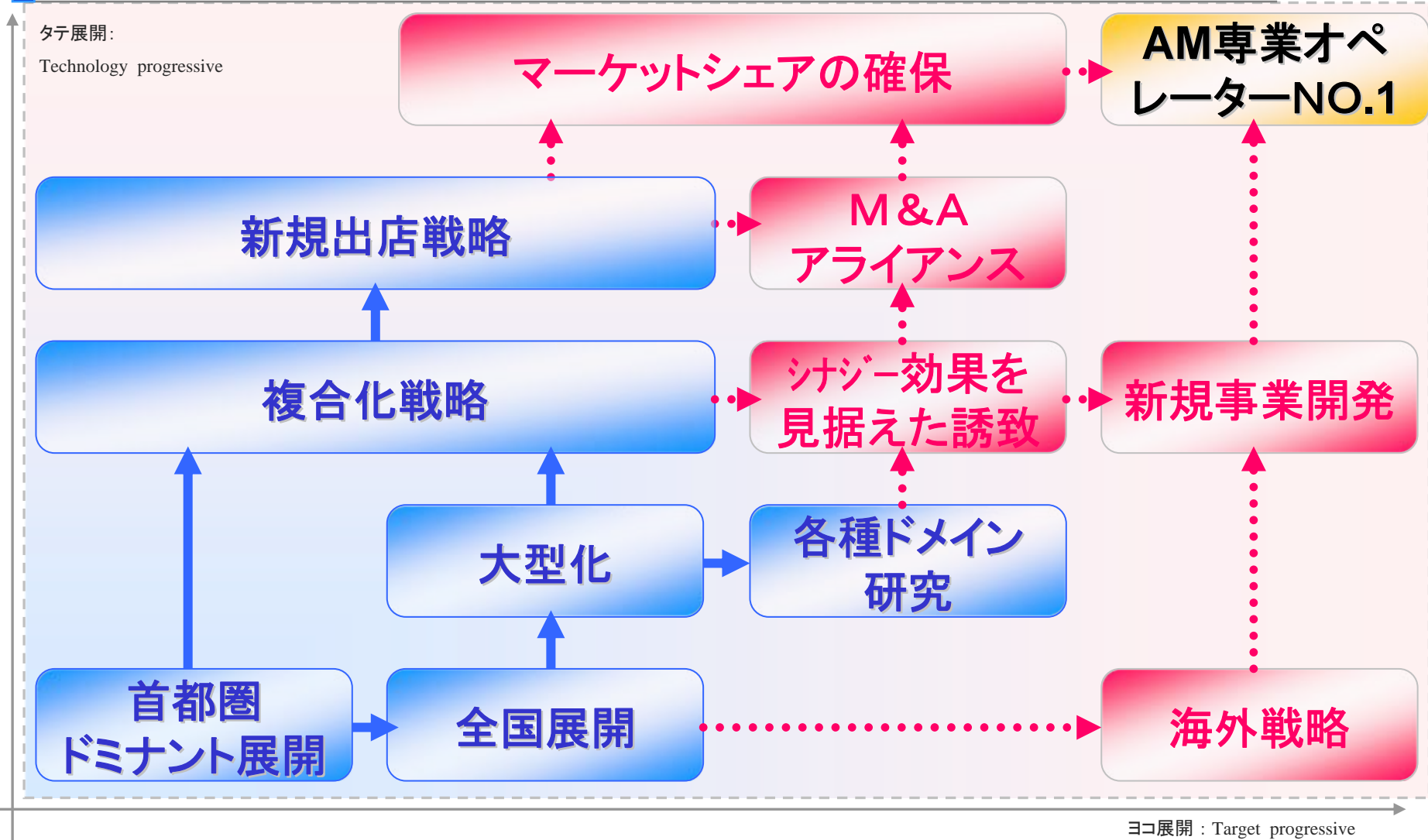
中長期的な経営戦略・方向性

中期イメージ



中長期的な経営戦略・方向性

タームミッション: AM 専門オペレーター No.1 への道程



「あなたの笑顔のために」



(注)

この配布資料に記載されている業績目標等は、いずれも当社が作成日現在入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況等の不確実な要因の影響を受けます。したがって実際の業績は、この配布資料に記載されている目標とは大きく異なる場合がありますことをご了承ください。

本資料の問い合わせ先

アドアーズ株式会社 経営企画室 | R・広報担当

電話03-5623-1115

E-Mail IR@adores.co.jp